

県肝疾患診療連携拠点病院
山口大学医学部附属病院 肝疾患センター主催
平成22年度 第1回肝疾患研修会 開催報告

山口大学医学部附属病院
肝疾患センター事務局
岡田 綾
田村 怜子

山口大学医学部附属病院肝疾患センターでは、山口県肝疾患診療連携拠点病院の事業として、毎年肝疾患診療に携わる方を対象とした、肝疾患研修会を開催しています。

この度、平成22年11月24日（水）に宇部全日空ホテルにて、平成22年度第1回肝疾患研修会を開催しました。附属病院の職員の他にも、院外の医師や看護師、薬剤師といった方々が計108名受講されました。

〔第一部〕「肝疾患診療支援について現状の問題点と今後の課題」

寺井 崇二副肝疾患センター長を司会として、県（行政）・医師・看護師・事務部門という、それぞれの立場から、肝疾患診療の現状報告が行われました。

県（行政）からは、山口県健康増進課の中本先生から近年の肝炎対策についての動向、山口県肝炎治療費助成制度についての受給状況や申請書の記載時の注意点について説明がされました。

本院からは、様々な立場からの肝疾患診療支援について報告を行いました。医師の立場として、肝疾患センターの日高先生から本院の肝疾患診療連携について、地域連携パスや肝炎パスポートの紹介がされ、また、消化器病態内科学の浦田先生からは、肝臓病教室の開催状況について報告がされました。看護師の立場からは、看護部の徳永先生から肝疾患ワーキンググループについて、さらに事務部門からは、田村が肝疾患センターについて、それぞれ取り組み状況の報告をしました。本院では、肝疾患診療支援の一環として、肝疾患センターホームページによる情報提供を行っています。この度、報告した内容がホームページに掲載されている旨を各演者が紹介しました。

また、本院以外の肝疾患診療支援について、岩国市医療センター医師会病院の田島先生から、岩国地区での肝炎医療の現状や、現在行っている取り組みについて、さらに今後の展開についてといった、岩国地区の肝疾患診療支援の実態について報告がされました。

第一部では、本院の状況報告のみではなく、行政の立場や他医療機関の肝疾患診療支援についての報告を行う事ができました。

〔第二部〕「肝疾患の診療連携」

坂井田 功肝疾患センター長を司会として、金沢大学大学院医学系研究科 恒常性制御学講座 教授の金子 周一先生をお迎えして、特別講演を行いました。金沢大学があります石川県は、肝疾患の診療連携事業について、全国的にも盛んな県であり、金子先生からは、肝疾患に関する話の他に、診療連携の取り組みについて講演をしていただきました。

「肝がん最近の話題」と題して、肝がんに関する最新情報やガイドラインについての説明、また、石川県で行われている肝疾患の診療連携について、丁寧に解説していただきました。

質疑応答では、日常の肝疾患診療業務において、苦慮している点についてアドバイスをいただき、大変有意義な講演となりました。

この度は、県内の医療機関の方々に研修会を受講して頂き、誠にありがとうございます。

肝疾患センターでは、これからも医療従事者や市民の方々に向けた研修会を計画していきますので、多数の皆様の参加をお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

《研修会風景》

